Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

土浦南ロータリークラブ 週報

桂離宮松琴亭

会長 稲野邉 穰　幹事 高野 和彦
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波 TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2018～2019年度
国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう

地区 HP　地区行事予定

2019年5月21日　41号
2019年5月14日　第2例会報告

1．点　　鐘　稲野邉会長
2．ロータリーソング斉唱
（奉仕の理想）
3．来賓紹介　稲野邉会長
4．幹事報告　高 野 幹 事
5．委員会報告
6．結婚記念月の紹介　親睦活動委員会
7．ニコニコＢＯＸの発表
塚崎副ＳＡＡ
8．出席状況報告　出席委員会
9．来賓卓話
株式会社つくば林業
代表取締役　松浦　晃 様
10．点　　鐘　稲野邉会長
11．ロータリーソング斉唱
（４つのテスト）
（司会進行　阿部ＳＡＡ）

本日のプログラム
2018-19年度青少年交換学生 ソフィア ラミネス タメスさん，ソフィアさんの２年時担任・英語担当の小野雅央先生をお迎え致します。

次週のプログラム
５月28日(火)は，2019-20年度クラブ協議会です。委員会毎の話し合いを致します。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	３名以上欠席卓	メークアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
94	66	6	72.53	2	3・7・9	11	84.62

【委員会報告】

新会員歓迎会案内

歓迎会幹事　今　野　和　義　会員

今年度入会された会員の皆さんの歓迎会を，６月18日(火)18時からさくらガーデンにて開催いたします。多くの皆さんの参加をお願い致します。

ゴルフ同好会コンペ案内

ゴルフ同好会幹事　塚　﨑　雅　之　会員

稲野邉年度最後の同好会コンペを６月20日(木)，太平洋ゴルフ美野里コースにて開催いたします。宜しくお願い致します。

【来賓卓話】

株式会社つくば林業　代表取締役　松　浦　　晃　様

株式会社つくば林業の松浦でございます。今日は意識の高いロータリアンの皆様の会合にお招きいただきましてありがとうございます。

本日は「林業とその未来，そして社会貢献」と題しましてお話しさせていただきます。ロータリアンの皆様も社会貢献していると思いますが，私たちも間接的ではございますが社会貢献をさせて頂いております。なおかつ林業というのは日本にある森林資源をどう保全しながら活用していくかという活動をしております。

内容に入る前に３つのポイントを認識頂きたく思っております。

１．森林は持続可能な唯一の自然資源である
２．林業に興味を持っていただきたい
３．林業は日本の将来に希望を与えるものである

当社は林業を営んでおりますが林業といっても造林・保全という部門と素材生産という部門の二つに分けることができます。小さな苗を植えて育てていきそれを素材として活用し，また苗を植えて育てていくというサイクルになります。私達は木を切って素材として市場に出し，山主さんに還元するという仕事をしております。その中でも色々と得意分野があるのですが当社は搬出間伐に特化しております。昔は山中で細い木等は切って捨ててくる捨て切りというのを行っていたのですが，私たちは道を入れて行い，搬出して様々な資材としてお金に変えて山主さんに還元しています。ペレット材にも携わっており，こういった作業を年間平均約10ヘクタール程度行っています。

山中から空を見上げて頂くと良くわかるのですが山を手入れしない状態ですと日が差さずに植物に必要な光合成ができません。非常に痩せて枯れたような土壌になってしまいます。山は土壌をどう保全するかという事が一番重要なことです。大きな災害とかがあった場合にこの土壌が荒れたところから流れ出て下流の方に災害を起こすという事があるからです。林業は水路保全の重要な役割を担っているとも言えます。

山中に道を入れていくのですが現在行っている香川県の現場では，平均斜度30度～40度程度の場所です。森林土木という特殊な技術が必要なのですが，幸い当社の作業班はそれに特化していますので，少しずつ道を開きながら木を切って作った道を使って搬出していくという工程です。木を切る工程ですが私たちは開発の方々とは違い，ただ木を切るという事はしません。常に木を一本一本切って「木取」といって，いかに真っ直ぐなところがあるかを見極めたうえで造材として切っていきます。根元が曲がっている木などは根っこの部分を中国に輸出したりしております。

間伐材というと曲がっているとか劣悪なものと認識があるのですが，しっかり木取さえすれば非常に有効な材料として高く売れます。一本の木を安く販売したりただの産業廃棄物として処分するような事はせずにいかにして有効に高く売れるかという事を考慮しております。木取をしながらの搬出は時間がかかるのですが非常に有効な商品価値が生まれてくるという事です。

間伐をした後の森林ですが山中まで日が差してきます。日が差してくると枝が伸び光合成が活発になって３年後くらいに徐々に木が太って成長が促進されます。CO_2の吸収も大きくなってきます。杉の場合７０年位がピークですが広葉樹とかよりも非常に高いCO_2の貯蓄が見込まれます。間伐により均一な山中を整備することによって真っ直ぐな木を育成することになりますし，土壌に日が差すことによって植物も生えてきます。土壌に植物が生えることによって土壌の流出を防ぐことにもなります。植物が育ち木の芽なども発育するにつれ動物も多く生活できるようになり生物多様性の森を作りことになります。

林業とは価値の付けられないものでもありますが年間で約70兆円の規模があるといわれています。豊かな自然が国民に寄与しているといえると思います。

いま，山に起こっていること

◎山が荒れている

◎里山（人家近くの山）の機能不全

◎多くの人々の関心が無くなっている

◎山間部の人口減少化や高齢化（限界集落）

◎従事者不足

◎森林環境税（５年後に国民一人当たり1,000円）

◎森林管理法（４月か施行）により荒れた山を市町村が管理することになったがやりきれないので業者へ委託

この近隣の里山は江戸時代には江戸に浸炭を納めていました。戦前くらいまでは山にそのような資材を取りに行っていたので山も非常にきれいで生物多様性を保っていたのですが，エネルギーの変化により山が手つかずになっております。里山は環境がよかったので水源としても良かったのですが，今まさに水源としても危機となっております。

私達は素材生産をして市場に回してビジネスとしておりますが，それ以外に「石岡市カーボンオフセット協議会」を立ち上げました。さらに「いばらき里山バイオマス協議会」を開設し竹炭のシンポジウムとかをやっております。そのように関連した事業をして社会貢献につなげております。大きな目的としては100年後に適正な資源と財産を残すという事です。かすみがうらマラソンでもカーボンオフセットを10ｔほど購入いただき，参加する人たちの交通にかかわるCO_2をオフセットして頂いております。

この近隣の山は霞ヶ浦水系の集水域になっております。霞ヶ浦は年間で約14億立方くらい集めてきますがそれを山の方で保全して山から徐々に流すという事をしております。CO_2削減に関しては各家庭や企業でも節電等で保管しておりますが足りない部分の排出権を買ってオフセットして帳尻を合わせております。車１台あたりのCO_2排出に対して杉160本程度の吸収となります。約300坪の杉が吸収するCO_2を排出しているという事です。

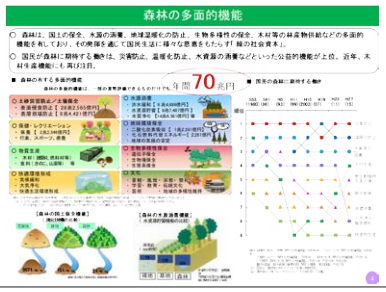
竹が沢山生えている地域では竹害で困っていますがそれを炭にすることによって土壌改良とかに使えるものになり水質の汚濁にも強くなります。竹を１ｔ燃やすと300kgほどの炭が出来るのでそれを皆様に配布したりしております。

最後になりましたが，林業は単に素材生産ではなく次世代の産業に成り得ます。木は加工によってはプラスチックの代わりにもなります。現在，輸入しなければならない日本経済を自立型に持っていくことができます。なおかつ海側でなく山側の産業がそこで創出されるため，限界集落等も改善されていくと考えられます。これからの林業は素材･新素材の産業になります。

林業の未来は価値のある産業になる，日本の将来に希望を持たせたいと思いながら活動していきます。

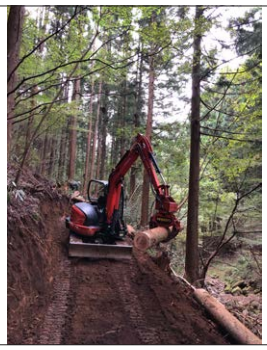
ご清聴ありがとうございました。

林業とは　その価値

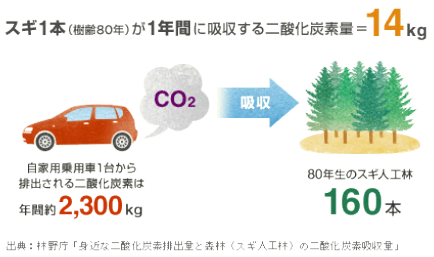


間伐の遅れた林内空間

森林作業道



二酸化炭素の排出について



目指すもの　その未来

【ロータリー情報セミナー①】

海　田　恭　敬　会員

例会に引き続きセミナー参加ありがとうございます。このセミナーは毎年ロータリー情報委員長さんの下に開催されますが，本年は塚原委員長より指名を頂きお話をさせて頂きます。「ロータリーは頼まれたらＮＯと言えない。」私は入会してから今年で45年になりますがその間断ったことは殆どありません。皆さんも頼まれたらＮＯと言わないようにしてください。

ロータリークラブに入会してロータリークラブって何ですか？と質問されたら何と答えますか？私もはっきりとした事は答えられませんが，資料によりますとロータリークラブとは社会奉仕をモットーとする職業人の集まりであり国際的な社交団体と記載されています。

ロータリー情報委員会の使命はロータリーの礼儀作法・ルールを教えることだと思います。いろいろな情報が沢山ありますが各委員長さんが勉強するなり地区に出向するなどして学んで皆さんに教えることが大切だと思います。3年に一度規定審議会というのがＲＩという世界のトップの会議で決まるのですが先日の地区大会でも披露されていました。様々な事柄が変わっていきますが一番大事なのは職業人の集いという事は絶対にはずして頂きたくないと思います。

本日は「これだけは知っておきたいロータリーの知識」という冊子を用意しました。これを実践できれば非常に素晴らしいロータリアンになれますので，皆さん是非持ち帰って勉強して下さい。

先程の例会で森林の話がありました。木はたくさんあるけど土台が大事という話でした。土台が悪いと木が育たない・枯れてしまうという事だと思います。ロータリーに関して分かりやすく理解できるのがロータリーの木という話です。

このようにロータリーの木が茂っている。これは基礎です。どんどん伸びることによって根が張ります。大木であればあるほど根が大きくなっていく。この根がロータリークラブでいえばクラブ奉仕。ロータリーには5大奉仕というものがあります。最初にクラブ奉仕，それから職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕が5大奉仕です。一番根っこのクラブ奉仕につきましては毎週一回開催している例会です。皆で集まって食事の時には和気あいあいと話しながらで良いのです。会長挨拶等，壇上に上がった際には静かに話を聞くという事が基本です。

ロータリークラブは，青年弁護士ポール・ハリスにより1905年アメリカのシカゴに誕生しました。日本では，1921年に，世界で855番目のクラブとして，東京ロータリークラブが国際ロータリーに加盟承認されました。

土浦南ロータリークラブは現在94名，日によって出席率が良い時も悪い時もありますが仲間同士で職業を通して便宜を図るという職業奉仕の話を聞き，だんだん仲間が増えていった中で，社会に対し奉仕をしないといけないという風潮が出てきて「社会奉仕」という概念が育ちました。最初は公衆トイレを作ったと聞いております。それから自分の地域や日本だけではだめだという事から国際奉仕へと繋がっていきます。

根っこのクラブ奉仕・職業奉仕が立派な根幹となって社会奉仕という概念が出来，国際化時代となり，国際奉仕となってきました。現状はこれで良いけれど，将来のために青少年を教育しようというと事で青少年奉仕という概念が出来上がったと言えます。そこにインターアクト・ローターアクトが出来，ロータリーの考え方を教えています。我がクラブは皆様のおかげでインターアクトもローターアクトも頑張ってくれています。

ロータリー財団は，世界に貧困な地域のポリオ等を救おうという事で基金を集め，ポリオ撲滅のために活動しています。

米山記念奨学会は，日本で勉強をしたいという人々に援助の手を差し伸べるという事で基金を作って活動しております。各国で米山学友会が出来ています。1983年には台湾・韓国，

2009年中国，2012年タイ，2013年ネパール，2014年モンゴル，それぞれの国で母国に帰った学生によって出来ているようです。

ロータリアンの義務はまず年会費を納める，そして例会に出席するという事，楽しいだけではただの親睦会になってしまいます。奉仕がなければロータリーとは言えません。ロータリアンとしての教養を高めるためにロータリーの友が皆様に配られていますが，素晴らしい情報が掲載されていますので是非読んで下さい。また，週報，ガバナー月信も是非読んで下さい。これらを読むことによってロータリーの事が良く分かります。

出席という点でクラブの例会に出るのは当たり前のこと。一緒になって親睦を深め奉仕をしましょう。例会で早く帰る人もいますが，以前，食い逃げ標語を作ったこともあります。

「遅刻・早退は癖のうち」「早退は楽しいムードの足を引く」「例会と卓話で磨く一時間」「みんなで聞こう終わりの鐘」等々。クラブでは10周年の時に「予定表まず一番に例会日」という標語が選ばれました。来年度55周年には標語でも募集したら如何でしょうか。

地区内55のクラブが地区にありますがガバナーを輩出しているクラブは20クラブ程度で少ないです。そのうち2名以上のガバナーを輩出したクラブは10クラブ程度です。当クラブからは3名のガバナーを輩出しております。会員90名以上のクラブは水戸・土浦南・水戸西3つしかありません。その反面，一桁のクラブが数クラブあります。その点土浦南クラブは新会員も多く光栄だと思います。素晴らしい人が更に素晴らしい人を紹介して頂いているという事です。これからもどんどん活発に活動できればいいと思います。本日は，ご清聴ありがとうございました。

【ロータリー情報セミナー②】

片　岡　信　彦　パストガバナー

規定審議会について

国際ロータリーの定款細則，標準ロータリークラブの定款を変更する機関として規定審議会があります。規定審議会は国際ロータリーの立法機関で国際ロータリーの組織規定を改正する権限を持っています。規定審議会は3年に一度，４～６月できれば4月に招集されます。最近では2013年，2016年，2019年に開催されました。決議権を持つロータリアンを代表議員といいますが、世界534地区から1名ずつ選ばれます。茨城県は2820地区といい534地区の一つとなります。代表委員は原則パストガバナーから選ばれ古河東ＲＣの山崎清司パストガバナーが2019年の規定審議会に出席いたしました。規定審議会の立法案は制定案と決議案の2種類があります。決議案につきましては2017年から毎年パソコンを利用して開催されています。国際ロータリーの定款細則，または標準ロータリークラブ定款を改正する立法案が制定案です。制定案を提出するには地区大会で地区の承認を受ける必要があります。決議案は国際ロータリーの理事会に対する要望事項です。

このような規定審議会が2016年4月に開催されました。前回の規定審議会の特徴はクラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をしたことです。16－21号議案でクラブ例会と出席に柔軟性を認める件と16－36号議案会員身分に柔軟性を認める件の2件が該当します。国際ロータリーの理事会が提出しました。

この決定には，例会の頻度，場所，方法および会員の種類に関する変更が含まれます。

なぜ変更が必要なのか？

一部の国や地域インドやアフリカでロータリーが急速に成長している一方で、会員数の減少や会員平均年齢の高齢化といった問題に直面している国や地域アメリカ･日本などもあります。これまで15年間ロータリーでは，会員資格，職業分類，クラブ運営に革新性を取り入れた試験的プログラムを実施してきました。会員資格は現在正会員，名誉会員の2種類です。

職業分類を重んじ，以前は1業種1名の正会員でしたが会員の身分が正会員だけとなりましたので1業種5名，50名を超えた場合は10パーセントを超えないこととされていますが，今回の審議会で1業種5名50名を超えるも撤廃されクラブの自主性に任されることになりました。また，国際ロータリーの加盟クラブとしてローターアクトクラブも認められました。ただし直ちにロータリアンとなるのではなく今後人頭分担金の額などが検討される事になります。人頭分担金は今後3年間毎年1ドルずつ負担することが制定され，今回の規定審議会では3年前と違って緩やかな改正となりました。

ロータリーとは何だろう

ロータリークラブはロータリアンに奉仕の心を授け，倫理を提唱していく団体，すなわちロータリアンの心の開発を第一義とする団体であります。人を育てること，道徳を守る人間を作ること，そのことにより世のため人のために動いていこうとロータリーは言うのです。ロータリーが倫理運動である，ということが理解できないとロータリーの職業奉仕は解らなくなります。

世のため人のために倫理を提唱していくためには，先ず，ロータリアン自身の心を磨かなければ，ロータリアン自身の倫理を高めなければ世の中に倫理を提唱することは出来ません。従ってロータリーは毎週の例会に必ず出席しなさいよと言うのであります。これが自己研鑽であります。そしてロータリアンは毎週の例会に出席して，ロータリアン同士がお互いに心を磨き合って奉仕の心を授かるのであります。これが切磋琢磨であります。

あなたをロータリーに迎える意味

ところで皆さんはどういう動機でロータリーに入会されたのでしょうか。皆様の紹介者からお話があったと思いますが，ロータリーと言うのは独特の組織で自分が入会を志願して入るものではなく，あなたの紹介者があなたをクラブに推奨し，クラブは一定の選考基準にしたがって選考の手続きをした上で，さらに会員の同意を得てあなたがクラブに入られることをお願いしたのです。

それではクラブのメンバーとしてあなたを迎えるということはクラブにとってどういう意味があるのでしょう。第一にロータリーの理想とする奉仕の道を，あなたの所属する業界や団体に広めて頂くために，クラブはあなたを適任者と認め，あなたをクラブから奉仕の全権大使としてあなたの業界に派遣しようというのです。第二に，クラブのほかの会員は，あなたの職業生活，社会生活における体験を高く評価し，交友を深めることにより人間としても向上していきたいと願っているということです。

このようなわけでロータリーでは会員を選ぶのに，例外はありますが一業種一人と言う職業分類の原則を守り，出来るだけその地域社会の違った業種から代表者を集めるようにしています。そうすれば同業者間の利害関係を離れて，胸襟を開いて語り合えるし，また自分の知らない世界の知識も得ることができるということです。またクラブの方から見ても，職業分類の原

則を守ることにより地域社会のあらゆる職業を網羅し，すべての業界にロータリー精神を浸透させることができるということです。地域社会の職業を反映させるためクラブでは職業分類表を１年に１度見直すことが大切となります。

例会に対するする誤解

さて例会について誤解があることはご存知ですか。

第１はロータリーの例会ではネクタイを締めなければならない。土浦南ロータリークラブも最近までそうでした。夏の期間はネクタイを外そうとの申し合わせで現在ではノータイの人もたくさん見受けられるようになりました。

第２には例会時間は１時間でなければならない，さらに昼の 12 時 30 分でなければならならないというルールはありません。クラブ細則第５条第２節に毎週の例会は何曜日，何時から開催としか書いてありません。

どのような例会をやろうと非常識なものでなければまったく自由で，それぞれの地域の特殊性に応じた自主的運営に任されているのです。だからと言って例会時間がいい加減でいいと言っているのではありません。常識的で，南クラブのように暗黙のうちに 12 時 30 分開始１時 30 分終了を決めて良いと思います。例外的に，たとえば講師の方に 25 分と依頼しておき，話が始まる直前に時間は 20 分しかありませんと言うのは失礼じゃないかと思います。ＳＡＡが前もって本日は数分延長になるかもしれませんとの断りを入れ，弾力的に例会を運営することが大切かと思います。

以上ロータリーについてお話をさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。